

人間環境大学看護学部看護学科 教育課程及び履修方法に関する規程

(準拠)

第1条 この規程は、人間環境大学学則（以下「学則」という）第28条および29条に基づき教育課程及び履修方法について定める。

(配当年次)

第2条 授業科目の配当年次については、別表（教育課程表）に定める。

2 授業科目は、以下の科目に区分する。

(1) 基礎科目

(2) 資格科目（養護教諭一種免許状取得科目、保健師国家試験受験資格科目）

(3) 専門基礎科目

(4) 専門科目

3 各学年において履修する授業科目は、配当学年内に履修することができる。

4 上級学年の者は、下級学年に配当されている授業科目を履修することができる。但し、特別な場合を除いて、下級学年の者が上級学年配当の科目を履修することはできない。

(卒業要件)

第3条 看護学部を卒業するためには、前条に定める科目群から次に示す必要単位数を含め128単位以上を修得しなければならない。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| (1) 基礎科目 | 21単位以上
(必修15単位+選択6単位) |
| (2) 専門基礎科目 | 24単位以上 (必修24単位) |
| (3) 専門科目 | 57単位以上 (必修57単位) |
| (4) 専門科目 (臨地実習) | 23単位以上 (必修23単位) |
| (5) 全ての選択科目 | 3単位以上 |

(履修登録および登録の上限)

第4条 学生は履修すべき授業科目について、指定の期日までに履修登録を行わなければならない。

2 履修登録は、やむを得ない場合を除いて本学WEBポータルサイトによって行うものとする。

3 登録期間以降の登録及びその変更は、原則として認めない。

4 既に単位を修得した授業科目及び授業時間が重複する授業科目は、履修登録することができない。

5 履修登録のされていない授業科目については、単位修得を認めない。

6 各年度の履修登録単位数の上限は学習効果を高めるために年間の標準的な履修単位の上限を45単位とし、上限の変更については、別途定める（CAP制）。但し、養護教諭コースの学生は、この限りではなく養護教諭コースに必要な科目を修得する。

(資格コースおよび強化プログラム等の履修と学生定員数)

第5条 看護師国家試験受験資格を目的とする看護師基本コースに加え、各強化プログラム（小児看護、がん看護、認知症看護、在宅・終末期看護）及び資格コース（保健師、養護教諭）を履修選択する場合、履修要件と定員数に制限がある。

2 各強化プログラム及び資格コースの履修要件、定員、選抜時期については別に定める。

(履修科目の失格)

第6条 学内等における授業科目は、次の(1)～(4)に掲げる事項に該当するときは、失格として当該授業科目の単位認定は行わない。

(1) 正当な理由がなく試験を受験しなかったとき。

(2) レポート等を定められた期限までに提出しなかったとき。

- (3) 試験等において不正行為をしたとき、または退場を命じられたとき。
- (4) 臨地実習については、別途定める。

(単位認定)

第7条 すべての科目においては、授業実施時間の3分の2以上、出席していない授業科目については、原則として単位修得を認めない。
2 単位の認定は、平素の勉学状態、出席状態、試験・報告書及び論文などの成績を総合的に判定して行う。

(授業の運営)

第8条 学則に基づき看護学部の授業の運営及び実施に関する詳細は、別途定める。

(既修得単位の認定)

第9条 既修得単位の認定については、別途規程を定める。

(成績評価)

第10条 学則第34条に定める成績は、下記の評価基準により認定する。

評価点等	評語	合否等	評価基準
100～90点	S	合格	学習目標をほぼ完全に達成している (Excellent)
89～80点	A		学習目標を相応に達成している (Very Good)
79～70点	B		学習目標を相応に達成しているが不十分な点がある (Good)
69～60点	C		学習目標の最低限は満たしている (Pass)
60点未満	D	不合格	学習目標の最低限を満たしていない (Failure)

2 学則以外に定める評価は、下記の基準により実施する。

評価点等	評語	GP	点数
試験欠席	E	不合格	試験不受験、課題未提出により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
授業放棄	F		出席不足等により成績評価要件を満たしていない (Withdrawal)
認定	N	認定	本学以外で修得したもので本学が単位認定したもの (Credit given under Credit provision)

(総合成績評価)

第11条 前条の成績の評価に対して次の各号に掲げるグレード・ポイント (以下「GP」という。)を設定し、不合格の授業科目を含めて、履修科目のグレード・ポイントの平均 (グレード・ポイント・アベレージ (以下「GPA」という。))を算出し、総合成績評価を行う。

評語	GP
S	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
D	0
E	0
F	0
N	対象外

2 GPAを算出する基準は、次のとおりとする。

$$GPA = \frac{\text{(授業科目で得たGP} \times \text{その授業科目の単位数)の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の総和}}$$

3 成績証明書には、GPAは明記しない。

4 GPA対象外授業科目は、次のとおりとする。

- (1) 教職に関する科目
- (2) 成績の評価点が認定となる科目
- (3) 定められた期間に履修取り消しの手続きをした科目
- (4) その他、卒業要件に算入されない科目

(追試験)

第12条 病気、就職試験、その他やむを得ない事由のため期末試験に欠席した者は、追試験受験願 (様式1) とその事由を証明する書類 (医者の診断書、事故又は延着証明書等) を提出し、認められれば追試験を受けることができる。但し、追試験手数料として別に定める金額を納入しなければならない。

(再試験)

第13条 期末試験不合格者は、再試験受験票 (様式2) を提出し、認められれば再試験を受けることができる。再試験で認定された単位の評価は「可」とする。但し、再試験受験者は、再試験手数料は、再試験手数料として別に定める金額を納入しなければならない。
2 補修実習を行う学生は、実習費用として一旦、別に定める金額を納入しなければならない。

(試験での不正行為)

第14条 試験等において不正行為をした者若しくは不正行為があったと認められた者に対しては当該科目を不合格とし、内容により、その期間中の全試験科目の不合格、懲戒などの処分を受ける。
2 不正行為については、試験内規に定めるとおりとする。

(追実習、再実習)

第15条 実習科目における追実習は、追試験に準じるものとし、再実習は、再試験の準じるものとしてその取扱いは別途定める。

(看護師国家試験受験資格)

第16条 卒業の認定を受ける看護学部看護学科の学生が保健師助産師看護師法 (昭和23年法律第203号) 第18条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、看護師国家試験受験資格を有することができる。

(保健師国家試験受験資格)

第17条 卒業の認定を受ける看護学部看護学科の学生が保健師助産師看護師法 (昭和23年法律第203号) 第18条に基づき、同法施行規則に定める所定の科目を履修し、所定の単位を修得したときには、保健師国家試験受験資格を有することができる。

(養護教諭一種免許状)

第18条 卒業の認定を受ける学生が教育職員免許法 (昭和24年法律第147号) 及び同法施行規則 (昭和29年文部省令第26号) に定める所定の科目を履修し、所要の単位を修得したときには、養護教諭一種免許状の授与資格を取得することができる。その他、必要な事項は実習要項に定める。

(規程の改廃)

第19条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が決定する。

附則 この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附則 この規程 (改正) は、平成28年4月1日から施行する。

附則 この規程 (改正) は、平成29年9月28日から施行する。

別表 (看護学部)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備 考	
			必修	選択	自由		
基 礎 科 目	専門学修の基礎	基礎ゼミナール	1	1		看護学科 基礎科目 21単位以上 必修科目 15単位 選択科目 6単位以上 専門基礎科目 24単位 専門科目 80単位 ※臨地実習23単位を含む 全ての選択科目 3単位以上	
		人間環境学	1	2			
		医療キャリアの基礎	1	1			
	コミュニケーションの基礎	英語Ⅰ	1	2			
		英語Ⅱ	1	2			
		英語Ⅲ	1	2			
		英語Ⅳ	1	2			
		中国語Ⅰ	1		2		
		中国語Ⅱ	2		2		
		コンピュータ基礎・情報処理法	1	1			
	人間と生活の理解	日本国憲法	1		2		
		愛知を学ぶ	1		2		
		人間関係論	1		2		
		教育心理学	1		2		
		フィットネススポーツ	1		1		
		体育実技	1		1		
		家族社会学	1		2		
		生命倫理学	1		2		
		社会福祉学	1	2			
		国際文化論	1		1		
		教育社会学	1		2		
		社会保障論	1		2		
		哲学	1		2		
		ヨーロッパの芸術文化	1		2		
	日本の歴史と文化	1		2			
	経営学の基礎	1		2			
	社会・環境と健康	1		2			
	資 格 科 目	教職関連科目	教職論	1			2
			教育原理	1			2
			教育方法論	2			2
			教育課程論	2			2
			道徳教育・特別活動論	2			2
			生徒指導論	2			2
ボランティア実習			2		1		
教育相談			3		2		
養護実習Ⅰ			4		1		
養護実習Ⅱ			4		4		
教職実践演習(養護教諭)	4		2				
専 門 基 礎 科 目	人体の構造と機能	解剖生理学ⅠA	1	1			
		解剖生理学ⅡA	1	1			
		解剖生理学ⅠB	1	1			
		解剖生理学ⅡB	1	1			
		微生物学	1	2			
		生化学	1	2			
		栄養学	2	1			
		適応・協同の生理学	2	2			
	疾病の資料と回復促進	病理学	2	1			
		疾病・治療論Ⅰ	2	2			
		疾病・治療論Ⅱ	2	1			
		疾病・治療論Ⅲ	2	1			
		老年疾病治療論	3		1		
	薬理学	2	1				
	健康と生活支援	統計学	1	2			
		疫学	2	1			
		保健看護情報学	3	1			
		公衆衛生学	1	1			
		保健医療福祉行政論	3	2			
		臨床心理学	2		1		
		カウンセリング	3		2		
		チームケア論	4	1			
		医療リスクマネジメント論	3	1			
人権擁護と成年後見制度		3		1			
医療経営論	4		1				

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考	
				必修	選択	自由		
専 門 科 目	基盤看護学	看護学概論Ⅰ	1	2				
		看護学概論Ⅱ	1	1				
		看護学概論Ⅲ	4	1				
		生活援助方法論	1	1				
		生活援助方法演習	1	2				
		診療援助方法論	2	1				
		診療援助方法演習	2	2				
		看護コミュニケーション論	1	1				
		看護倫理	4	1				
		看護管理学	3	1				
		組織とリーダーシップ論	4		1			
	発達看護学	小児看護学	小児看護学概論	2	2			
			小児看護援助論Ⅰ	2	1			
			小児看護援助論Ⅱ	3	1			
			小児看護援助論Ⅲ	4		1		
			小児看護技術論	4		1		
			小児看護学外演習	4		1		
			小児看護演習	4		1		
		母性看護学	母性看護学概論	2	2			
			母性看護援助論Ⅰ	2	1			
			母性看護援助論Ⅱ	3	1			
	成人・高齢者 看護学	成人看護学	成人看護学概論	2	2			
			急性期看護援助論Ⅰ	2	1			
			急性期看護援助論Ⅱ	3	2			
			慢性期看護援助論Ⅰ	2	1			
			慢性期看護援助論Ⅱ	3	2			
			がん看護援助論	4		1		
			がん看護技術論	4		1		
			がん看護学外演習	4		1		
		高齢者看護学	がん看護演習	4		1		
			高齢者看護学概論	2	2			
			高齢者看護援助論Ⅰ	2	1			
			高齢者看護援助論Ⅱ	3	1			
			認知症看護援助論	4		1		
			認知症看護技術論	4		1		
	認知症看護学外演習	4		1				
	認知症看護演習	4		1				
	広域看護学	在宅看護学	在宅看護学概論	2	2			
			在宅看護援助論Ⅰ	2	1			
			在宅看護援助論Ⅱ	3	1			
終末期看護学			3	1				
在宅・終末期看護援助論			4		1			
在宅・終末期看護技術論			4		1			
在宅・終末期看護学外演習			4		1			
在宅・終末期看護演習		4		1				
地域看護学		地域看護・公衆衛生看護学概論	2	2				
		公衆衛生看護援助論Ⅰ	2		2			
		公衆衛生看護援助論Ⅱ	3		1			
		公衆衛生看護援助論Ⅲ	4		2			
		公衆衛生看護援助論Ⅳ	4		1			
		学校保健	2		2			
		養護概説	3		2			
健康相談活動論		3		2				
国際看護学		国際看護学Ⅰ	1	2				
		国際看護学Ⅱ	2	2				
		国際看護学Ⅲ	3		2			
		国際看護学Ⅳ	4		1			
	国際看護学海外研修	2		1				
精神看護学	精神保健看護学概論	2	2					
	精神看護援助論Ⅰ	2	1					
	精神看護援助論Ⅱ	3	1					
統合看護	家族看護論	2	1					
	看護過程	2	1					
	ヘルスアセスメントⅠ	2	2					
	ヘルスアセスメントⅡ	4	1					

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専 門 科 目	統合看護	看護教育論	4		1	
		災害看護学	4	1		
		緩和ケア・ターミナル看護論	4		1	
		看護総合科目	4		1	
		ストレスマネジメント論	4		1	
		研究方法論	3	1		
		看護研究	4	2		
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	2	2		
		小児看護学実習	3	2		
		母性看護学実習	3	2		
		急性期看護学実習	3	3		
		慢性期看護学実習	3	3		
		在宅高齢者看護学実習	2	1		
		高齢者看護学実習	3	3		
		精神看護学実習	3	2		
		国際看護学実習	4		1	
		在宅看護学実習	4	2		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4		3	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4		2	
統合実習	4	2				